

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国際線の対応について(Rev.50)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う環境変化への対応として、未発表としていた2022年10月30日～2023年1月31日の路線便数計画を追加決定しました(*)。

JALグループは、引き続き空港や機内の清掃・除菌を徹底し、安全・安心な空の旅を提供してまいります。

(*) 引き続き計画を調整中の路線および対象期間が異なる路線が一部あります。

【主なトピックス】 ※=は往復、-は片道を表します。

- ✓ 成田=フランクフルト線を増便し、12月から毎日運航とします。
- ✓ 香港-羽田線を10月31日から再開し、羽田=香港間を往復運航します。
- ✓ 年末年始に関西/中部=ホノルル線を増便する他、成田=コナ線を運航します。

<路線便数計画について>

■ 2022年10月の路線便数計画(*)

*本日までに未発表の期間を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
60	60	4,854	2,564	53%

■ 2022年11月の路線便数計画(*)

*本日までに未発表の路線を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
54	54	4,080	2,008	49%

■ 2022年12月の路線便数計画(*)

*本日までに未発表の路線を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
50	50	3,909	1,866	48%

■ 2023年1月の路線便数計画(*)

*本日までに未発表の路線・期間を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
50	50	3,784	1,794	47%

※上記減便率は2020年度事業計画比です。なお、上記のスケジュールは関係当局への申請と認可を前提としています。

<方面、都市について>

北米	シカゴ、ダラス・フォートワース、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シアトル、サンディエゴ、バンクーバー
欧州	ロンドン、パリ、フランクフルト、ヘルシンキ、モスクワ、ウラジオストク
東南アジア	シンガポール、クアラルンプール、デリー、ベンガルール、ジャカルタ、マニラ、バンコク、ハノイ、ホーチミンシティ
オセアニア	シドニー、メルボルン
東アジア	北京、大連、天津、上海(浦東・虹橋)、広州、香港、ソウル(金浦)、台北(桃園・松山)
ハワイ・グアム	ホノルル(オアフ島)、コナ(ハワイ島)、グアム

以上

※路線便数詳細は別添資料をご参照ください。今後の最新情報については JAL Web サイト
(<https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/other/200511/index.html#inter>) をご参照ください。